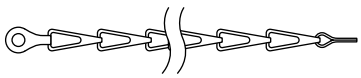
85464369243000

工事説明書

1．付属品

名　称	形　状	個数	備　考
鎖（チェーン）		2	転倒防止用（全長 275mm）
食塩		1	食塩水用（500g）

安全上のご注意

■ 据付工事および電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

■ ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**　誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ **注意**　誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される場合。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“工事説明書”は、“取扱説明書”とともに、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠ 警　告

●据付・電気工事は、当社のサービスエンジニアが行います。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

●据付工事は、“工事説明書”に従って確実に行ってください。
据え付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

●電気工事は、専用回路の必要はありませんが、ろう電ブレーカーが取り付けられた壁面のコンセントから直接電気を取ってください。（1φ100V）
延長コードの使用・タコ足配線はしないでください。電源コードがコンセントまで届かない場合、据え付け場所を移動させるかあるいは電源コードが届く位置にコンセントを増設してください。アースを必ず接続してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。

●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だったり、いたんだ電源プラグは使用しないでください。また、ゆるんだコンセントに接続しないでください。感電や発熱による火災の原因になります。

●屋外への設置、雨水がかかる場所への設置は絶対しないでください。感電・火災の原因となります。

⚠ 注　意

●給排水一体タンクは定期的に振り洗いを行い、常に清潔にし、必ず水道水を使用してください。お手入れせずに使い続けると汚れや水あかで性能が低下したり、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因となります。

●運転中はお手入れをしないでください。感電・けがの原因となります。

●お手入れのときは、電源プラグを抜いてください。

●お手入れ後は、吸込フィルター、前面パネル、吹出口フィルター等の部品をはずしたまま使用しないでください。故障の原因となります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

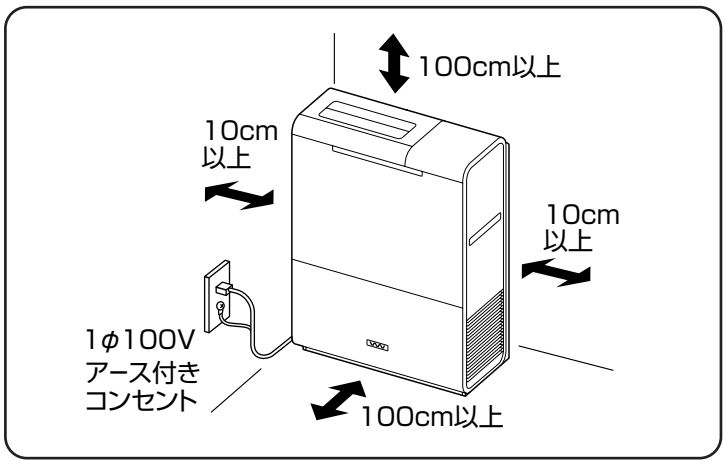
●長期間使用にならない場合は水を抜き、電源プラグを抜いてください。給排水一体タンク、電解水トレーの水を抜いて、特に除菌エレメントは十分に乾燥させてください。水を抜かないとカビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因となります。
詳しくは、サービス技術資料または取扱説明書を参照してください。

2. 据付場所

1. 空気の循環しやすい場所に据え付けてください。また、吹出口および吸込口の風の通路には障害物がないようにしてください。
2. 本体の周囲は右図に示す距離をとってください。
   前面へは100cm以上のサービススペースを設けてください。

⚠注意

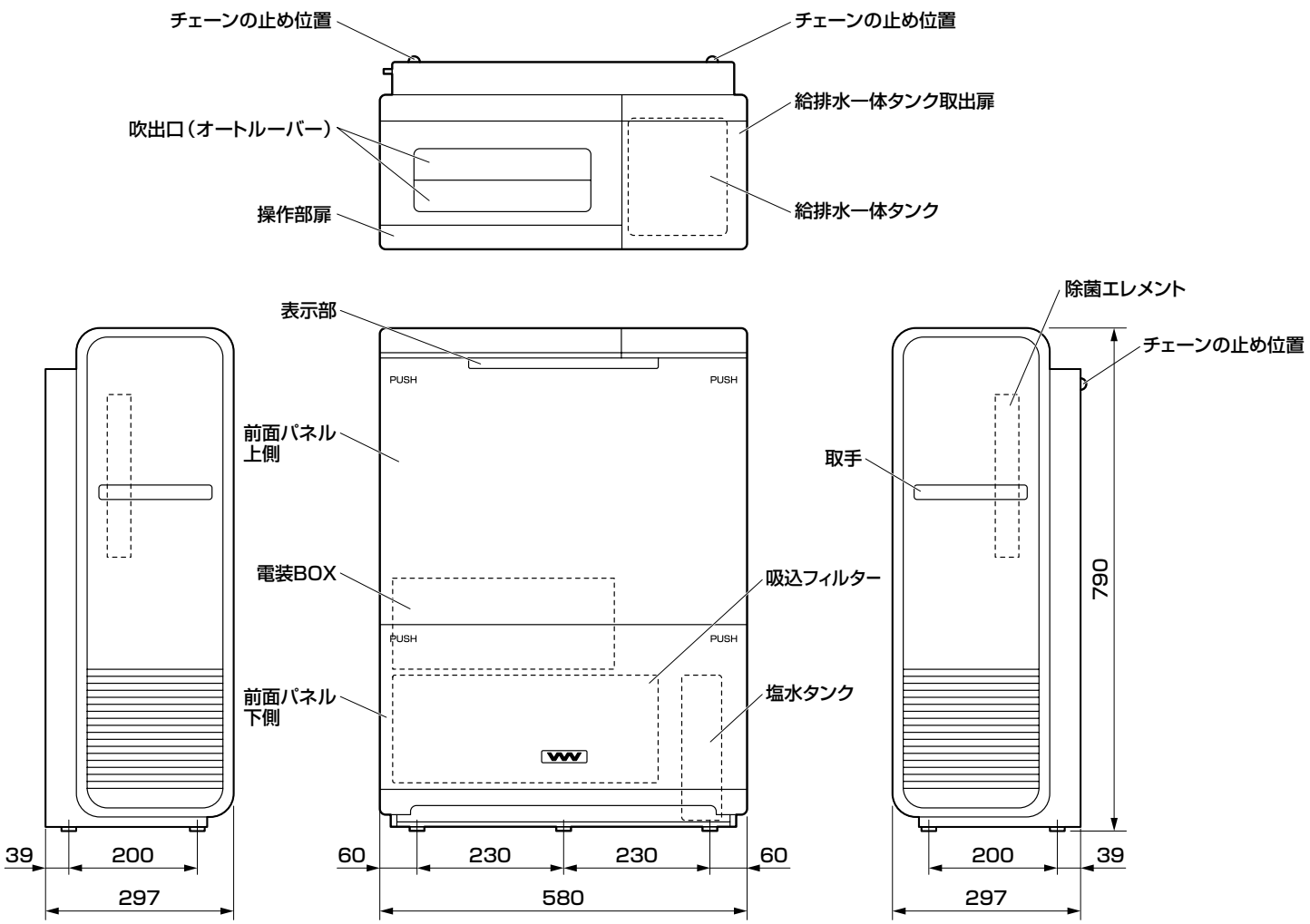
3. 地震等で転倒させないために、付属の鎖（チェーン）を使用してください。使用しない場合は転倒による事故の原因となります。
4. 不安定な所や水平でない所へは据え付けないでください。（製品の傾きは2° 以内に設置）。運転音が増大する恐れや転倒する恐れがあります。倒れると水がこぼれます。
5. アースを必ず接続してください。



⚠注意　特に下記のような場所への据え付けは避けてください。

- **窓際など外気の影響を受けやすい場所、水が凍結しやすい場所、エアコンなどの風が直接あたる場所。**
- **直射日光があたる場所、暖房機のそば。**
  本体などが変形・変色する原因となります。また温度が上がるため、内部の水が不衛生になる場合があります。
- **カーテンの近くやふとんの上。**
  吹出口や吸込口が塞がれ、故障の原因となります。また吸込口からほこりを吸い込むと機能が低下することがあります。
- **高い所、傾いた所、不安定な場所。**
  地震や人が触れて落下したり、転倒する原因となります。傾いた場所に据え付けると、水位検知装置が作動して給水ランプが点灯し、運転が停止する場合があります。

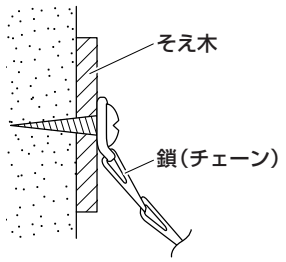
据付寸法と各部名称



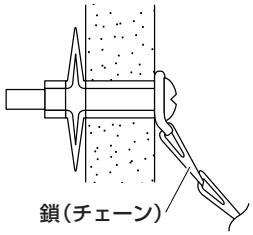
3. 据付方法

● **転倒防止を必ず行ってください。**
付属の鎖（チェーン）を使用します。背面上部にビスがあります。（据付寸法図参照）
① そのビスを取りはずしてください。
② 鎖（チェーン）にビスを通し、元のビス穴にとも締めしてください。（据付寸法図参照）
③ 鎖（チェーン）の片方を壁面にタッピングネジ（4×25：現地手配）で固定してください。
④ 壁面への固定は、壁材料の種類によって異なります。適切な方法にて施工してください。（下記参照）

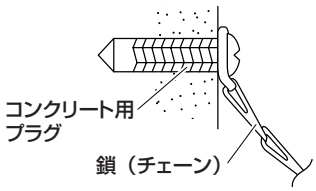
土壁・しっくい壁の場合
壁にそえ木を行い、同梱の鎖（チェーン）をネジで固定してください。



石膏ボード・薄い合板など中空壁の場合
中空壁用プラグを壁に打ち込み、同梱の鎖（チェーン）をネジで固定してください。
※それぞれのプラグは壁の厚さに合ったものを使用してください。

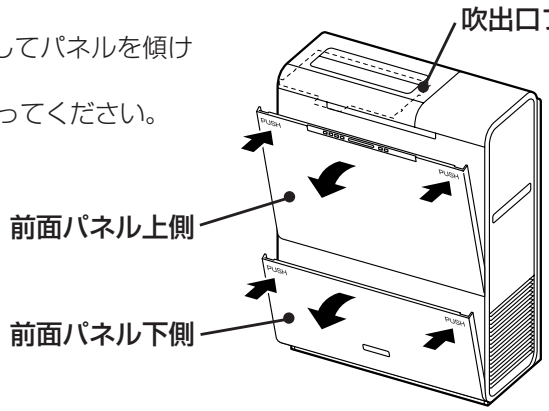


モルタルコンクリート壁の場合
コンクリート用プラグを壁に打ち込み、同梱の鎖（チェーン）をネジで固定してください。

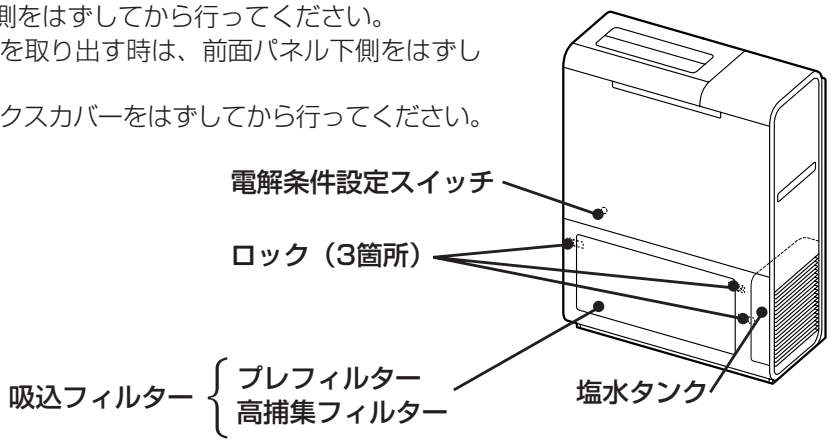


前面パネルの開けかたと閉じかたの注意

■ 前面パネル上側を開けるときは、上部両サイドの“PUSH”箇所を押してパネルを傾けてから、下部の両サイドのツメ部を抜いてください。
■ 前面パネル下側を開ける時は、上部両サイドの“PUSH”箇所を押してパネルを傾けてから、下部の両サイドのツメ部を抜いてください。
■ 前面パネル上側・下側を閉じる時は、開ける時と逆の手順で、各々行ってください。



■ 吹出口フィルターの掃除は、前面パネル上側をはずしてから行ってください。
■ 吸込フィルターの掃除、または塩水タンクを取り出す時は、前面パネル下側をはずしてから行ってください。
■ 電解条件の設定は前面パネル上下、電装ボックスカバーをはずしてから行ってください。



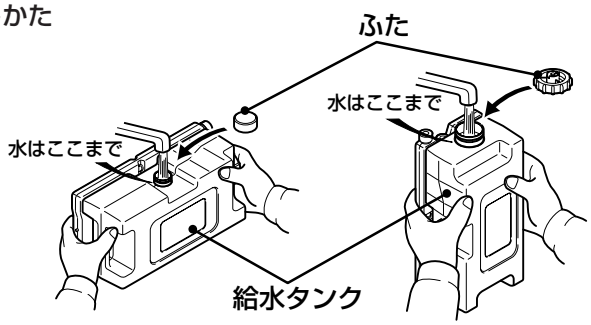
試運転

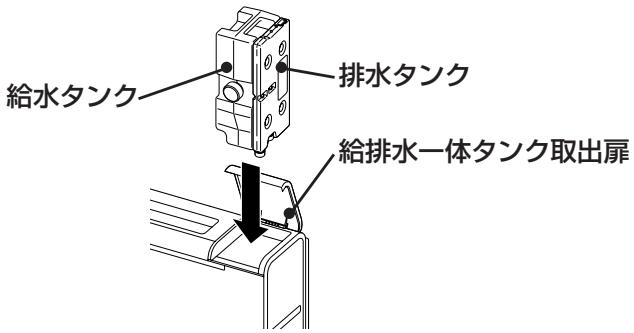
■ 試運転

1. 使用環境に応じた電解条件の設定を必ず行ってください。
2. 食塩水は別容器に作成し、塩水タンクに入れてください。
3. 食塩ポンプのエアー抜きを必ず行ってください。流量が不安定となり、カビや雑菌の発生につながります。
4. ロックを解除し、製品を運転可能状態にしてください。
5. 給水タンクに水道水を入れ、設置してください。（タンクは、図の向きに挿入してください。）

- **必ず水道水（飲用）を使用**
  井戸水、浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、海水などは絶対に使わないでください。
  除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
- **ご使用する設置環境により、電解条件の設定が必要です。電解条件設定スイッチを適切な位置に合わせているかをご確認ください。**

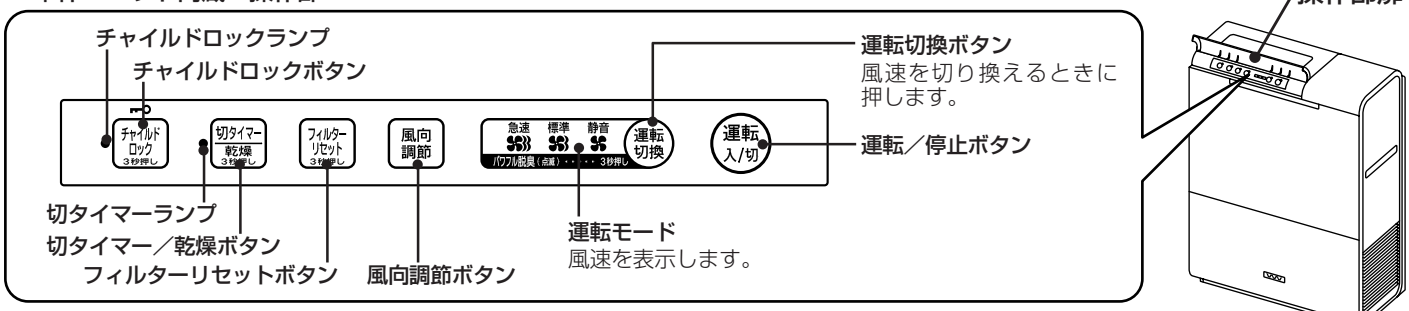
給水のしかた



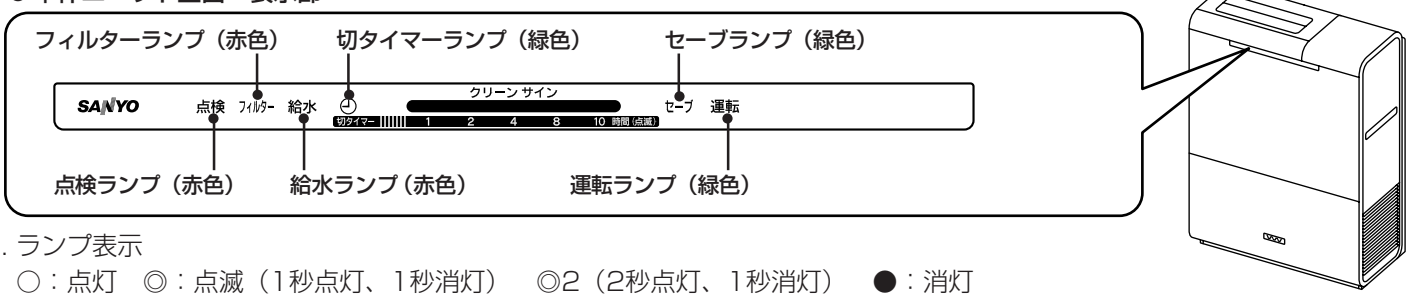


6. クリーニング運転20分後、次亜塩素酸濃度を測定してください。
7. 運転を行い、本製品が正常に動作することを確認してください。本体からの異常音がないこと、本体のビビリ音がないこと。

● 本体ユニット内蔵：操作部



● 本体ユニット正面：表示部



8. ランプ表示

○：点灯　◎：点滅（1秒点灯、1秒消灯）　◎2（2秒点灯、1秒消灯）　●：消灯

動作内容	表示部						操作部		
	点検ランプ	フィルターランプ	切タイマーランプ	給水ランプ	セーブランプ	運転ランプ	チャイルドロックランプ	切タイマーランプ	運転モードランプ
停止中	●	●	●	●	●	●	●	●	●
運転中	●	●	●	●	●	○	●	●	●
警報中	◎	●	●	●	●	○	●	●	●
フィルター表示	●	○	●	●	●	○	●	●	●
給水要求	●	●	●	○	●	○	●	●	●
凍結警報	●	●	●	●	◎	○	●	●	●
運転準備、クリーニング中	●	●	●	●	●	◎2	●	●	●
セーブ運転中	●	●	●	●	○	○	●	●	●
タイマー運転中	●	●	○	●	●	○	●	○	●
パワフル脱臭中	●	●	●	●	●	○	●	●	◎急速
チャイルドロック中	●	●	●	●	●	○	○	●	●
エレメント交換要求	●	◎	●	●	●	●	●	●	●
電解槽交換要求	○	●	●	●	●	○	●	●	●

9. 試運転後、自動クリーニング運転機能により停止しているときも機器内部を清潔に保つため、電源プラグを抜かず、給排水タンクの水が十分にあることを確認してください。

※ 据え付け後、長期間ご使用にならない場合は、給排水一体タンクと電解水トレーの水を抜いて、除菌エレメントは十分に乾燥させてください。（詳しくは取扱説明書をご覧ください）